

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	26	施策名	都市基盤施設の維持・強化	
小施策コード	26-4	小施策名	都市緑化の推進	
小施策 主管課等コード	092000	小施策 主管課等名	公園みどり課	
評価責任者名	佐竹 克也		内線番号	7260
評価シート作成者名	森 勝利		内線番号	7261

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	花と緑のガーデン都市づくり事業におけるハンギングバスケットについては、設置数日本一を継続するとともに、質の向上を図る必要がある。 また、緑を創出するために公園と街路樹の適正な維持管理を行う必要がある。
取組の方向性	生活に緑とうるおいをもたらすために公園や街路等の公共空間の緑化を推進するとともに、適正な維持管理を行う。 また、市民の緑化活動を支援するなど、私的空間の緑化を推進する。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	市街地, その他の市域, 市民・民間事業者
意図 (対象をどのようにしたいのか)	公共空間及び私的空間が緑化されている。

## Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていくことを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度 実績 (現状値)	27年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
A 緑地推進制度の利用件数 (↑)	件	280	285	300	315
B ( )					
C ( )					

### Step 3 市民ニーズの把握

盛岡市まちづくり評価アンケート（平成 27 年度実施）でも、盛岡の緑について約 7 割以上の市民が街中に緑が多いと回答しており、また、緑地支援制度の利用者も増えており、緑化に対する市民の意識が高まっていると共に、市民ニーズも高いことが伺われる。

しかし、公園や街路樹に対する要望や苦情は依然多く、公園や街路樹の維持管理における市民ニーズに対して十分な対応が出来ていない状況である。

### Step 4 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	街路事業や土地区画整理事業の推進により成果向上を図るとともに、市街地に潤いを与え、良好な景観を構成する街路樹の適正な剪定作業に努める。 「緑が文化になるまち盛岡」の実現に向け、公共空間の緑化とともに私的空間の緑化を推進する必要がある。 また、市街地に花と緑があふれ、良好な景観が形成されるよう、市民が日常生活の中で、緑を守り・育て・親しむための活動を支援する。	50
	国・県・ 他自治体		
	市民・ NPO	幹線道路の植樹柵や、支援制度を活用した緑化箇所の除草、清掃等を行うなど、地域住民にとって身近な緑は、地域住民が自ら維持管理に努める。 支援制度を活用した緑化箇所の除草、清掃等を行うなど、日常的に親しむ身近な緑を適正に維持管理する。	30
	企業・ その他	各種事業所は、地域に根ざした社会貢献活動の一環として、身近な公園等の維持管理や再整備などに積極的に参画する。	20

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

身近な緑は地域住民が自ら維持管理に努め、その活動を市が支援することにより、適正な管理と日常的な楽しみに繋がる。

また、各種事業所も参画してもらい、地域に根ざした企業として積極的に活動してもらうことを目指しているため。

## Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

グリーンバンクからの支援も受け実施した花苗の配布等により各町内の緑化が図られたほか、企業や住民の協力によりハンギングバスケット設置数も日本一となっている。

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 緑花まつりやハンギングバスケットフェア等のイベントにより緑化に対する意識啓発を行ったことによる。
- ・ 町内会等による花植えや公園管理により緑化に対する意識が向上していることによる。

#### (3) さらに成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

- ・ 市民がより緑化に取り組みやすくするために、市としての支援が必要。
- ・ 公園等の維持管理について、市として行わなければならない部分については、確実に実行しなければならない。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

公園等の緑化活動を行なっている市民への支援や、施設の補修や更新が不十分である。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

社会経済状況の悪化による予算確保が困難なため。

#### (3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

新たな財源確保と、市民・事業所・団体等が協働で緑のまちづくりを行う仕組みづくりの検討を行う。

### 3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

公民連携による公園整備や利活用を推進する。

## Step 6 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1で記載した事業についてその理由

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）